

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 18 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 5 月 14 日 作成

事務事業名		統計調査資料活用分析事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	総務企画部	課長名	濱田 善也
	施策	24	行財政改革の推進			所属課	企画財政課	担当者名	中村 奈利
	基本事業	84	広聴・広報機能の充実			所属班	政策企画班	(内線)	1242
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始		成果優先度評価結果 ⑨ コスト削減優先度評価結果 ⑥
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)					
【事業の内容】 各統計資料の整理、分析を行い、ホームページ等広報媒体での公表を行う事業									
【業務の流れ】 毎月末統計資料データの更新、専門文献等による学習									
【主な予算費目】 なし									

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 主要指定統計調査等を基に、調査資料として活用するための整理を行い、公表可能なものは公表した。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 主要指定統計調査(H21年4月より基幹統計へ名称変更)に加え、市民や行政、民間が必要とするデータを収集し、それが活用されるための分析・整理を行い、最新のデータを公表していく。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 各種統計データ	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) → ア データ作成にかかった日数 日 イ データ更新回数 回
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 適切に整理され、速やかに提示できる。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) → ア 各種統計データ数 件 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) いつでも行政情報を入手できる いつでも行政に意見を言える	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) → ア 適切に提示できなかったデータ数 件 イ ⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) → ア 行政情報を入手している市民の割合 % イ 行政に意見を言う機会が十分にあると思う市民の割合 %

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 22 年 度
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円								
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費									
正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1		
延べ業務時間	時間	160	42	40	240	200	200	200		
(B)人件費計	千円	635	167	159	955	796	796	796	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	635	167	159	955	796	796	796	0	
活動指標	ア 日 イ 回		20 12	5 12	5 12	10 12	10 12	10 12	10 12	10 12
対象指標	ア 件 イ		20	20	20	20	20	20	20	20
成果指標	ア 件 イ		4	4	3	1	0	0	0	0
上位成果指標	ア % イ %		81.4 6.3	80.6 8.9	83 9	80.4 10.1	84 10	85 10	85 10	85 10

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
統計資料に対する分析、活用についての需要は年々高まってきており、必要なデータを速やかに分かりやすい形で提供するため、平成18年度より本格的な事務事業として開始した。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
行政からだけでなく、住民からも統計データの需要が増えてきており、必要な情報を分かりやすい形で提供するシステムの構築が必要になってきている。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
職員から、常に最新のデータを提供してほしいとの要望がある。

事務事業名	統計調査資料活用分析事業	所属部	総務企画部	所属課	企画財政課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 意図の「適切に整理され、速やかに提示できる。」ことにより、結果の「いつでも行政情報が入手できる」「いつでも行政に意見を言うる」に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 統計情報の提供という、公共性の高い事業であり妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 現在、統計資料の整理が十分でない。情報の開示方法に関しても見直していかなければならない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 公費を投入して収集した統計が資料として十分に活用できず。影響は大きい。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 類似事業は無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 事業費はないため、削減余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 20年度からホームページ上での情報の公表作業を実施したため、20年度に比較して業務時間数は増えたが、最小限の人数で、可能な限り効率的な業務を行っている。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 全ての市民に公開する情報であり、公平である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	現時点では必要とされる統計データの把握から公表までの整理が十分ではないため、分析や公表資料の作成方法などに深める必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 必要とされるデータを分かりやすいかたちで、常に最新のものが提供できるよう整理を進める。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
必要とされるデータは指定統計調査結果(H21年4月より基幹統計へ名称変更)だけからでは得られず、その他のあらゆる調査や各種行政機関が所有するデータが必要となるため、データ収集範囲をさらに広げていかなければならない。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	12	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)